

2019年度「研究者の横顔」レポート

氏名： 島津 裕

1. 研究者になるうとしたきっかけ

自分が病気になった時、その病気について最もよく知っていて、自信をもって治療を選びたいと思い、医師を志しました。初診を忘れずに、現在も目の前の患者さんに常に最善の治療を提供できるよう心がけています。そして一人でも多くの患者さんに同じように最善の治療を届けたいという思いで研究を続けています。

2. 助成研究の内容紹介

今回、多発性骨髄腫という病気をテーマに選択しました。多発性骨髄腫は血液の病気の中では、悪性リンパ腫や急性白血病の次に多い病気です。近年、嬉しいことに多発性骨髄腫に対する新しい薬がたくさん登場したのですが、その反面、医師も患者さんもどの治療法が最善なのか、悩む場面が増えてきました。そこで、多発性骨髄腫の治療を選択する際に補助となるような、ガイド役としてのアプリを開発しようと研究を始めました。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

皆さんもレストランを探す時に、口コミ、食べログ、時にはミシュランガイドで検索されるかと思います。自分の病気の治療を探すのに、難しい英語論文だけではなく、このようなアプリも一つのツールとなれることを目指して、研究を行っています。

4. 全国のRFL関係者に一言メッセージ

リレー・フォー・ライフの皆さまの思いを形にできるよう、真摯に研究を進めて行きたいと思います。